



平成会
濱崎 清志 議員

問 災害対策について

Q 今回の熊本地震において、災害対策本部はどのように機能したのか。

A 四月十四日には災害警戒拡大体制本部を、十六日の震度五強の地震では災害対策本部を設置した。担当部署で所管する施設の点検を行い、主要道路を巡回して市内の被害状況の情報を収集した。農地などの把握できなかった被害については地域からの報告を受けて現場確認を行った。

Q 各地区の公民館等の避難所開設の状況は。また公民館の行事が入っていた場合の避難所としての利用はどのようにしているのか。

A 四月十四日は、各地区公民館を避難所として開設し、十六日は、安中地区は新湊集合避難所、その他の地区は各地区公民館を開設した。公民館を避難所として開設した場合の

公民館行事との調整については、人命を尊重し避難者が優先すると考えている。今回、行事が入っていた一部の公民館で適切な対応ができず、御迷惑をかけたことを反省している。

Q 災害時の備蓄、調達、配分、輸送などに対する状況は。

A 非常食の備蓄目標は、人口五%の一日二食の三日分で約一万四千食だが、今回、熊本地震への救援物資として全て提供したため、アルファ化米や飲料水等を補充予定である。避難所での配給の優先順位等は決めている。輸送は市職員や災害協定を結んでいる輸送業者を計画している。

問 交通安全対策について

Q 城内一丁目、南陽堂前の横断歩道の山側は待機場所がなく危険である。学校が多く、横断する子供も多いので対応をお願いしたい。

A 横断歩道山側の街灯部分の市有地を活用する形で早急に検討する。

【その他の質問項目】

○島原市教育大綱について

問 熊本との未来像をどう描くのか

Q 海を制すれば島原は劇的に成長する。交通の利便性が高く、復興工事が増える熊本へ通勤する人も増えるだろう。中古の船を二隻ほど購入して運行し、安い運賃で観光客や物を運んではどうか。

A 二つの船会社があるため行政の参入はどうかと思うが、考え方は意義深い。

問 子ども食堂と雨の日の遊び場対策について

Q 低所得の子育て世帯で教育格差が生じている。その実態はどうか。その解決のきっかけとして民間による子ども食堂の立ち上げを支援する考えはないか。

A ひとり親世帯や生活保護世帯は



実践クラブ
生田 忠昭 議員

高校や大学進学率が全体より落ちるのは事実である。現状を把握したうえで検討したい。

Q 雨の日に、就学前の幼児を遊ばせる場所が無い。諫早市のこども之城と同じような場所を提供できないか。

A 子供が健康に育つ為に雨の日も元気に遊べるところの必要性は理解しているが、他施設の多目的利用を研究したい。

問 市民が知らないゴミ問題について

Q 年間最大量のゴミが出る大晦日に処分場が休業しているので、回収業者の敷地にゴミが溢れて近隣が迷惑している。午前中だけでも、受け入れができないのか。

A 過去には受け入れたことがあり、県央県南広域環境組合にお願いしていきたい。

【その他の質問項目】

○銀水復活と一号機関車事業について